

2024年2月14日



各位

会社名 F I G 株式会社
代表者名 代表取締役社長 村井 雄司
(コード：4392 東証プライム 福証)
問合せ先 取締役常務執行役員 岐部 和久
(TEL. 097-576-8730)

特別損失の計上及び連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年12月期第4四半期連結会計期間において、特別損失を計上するとともに、2023年7月31日に公表した2023年12月期通期（2023年1月1日～2023年12月31日）の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 投資有価証券評価損

当社が保有する投資有価証券の一部について、取得価額に比べて実質価額が著しく下落したため、減損処理により投資有価証券評価損300百万円を特別損失として計上いたしました。

(2) 事務所移転費用

グループ会社間の連携強化及び経営効率化を目的として、4箇所に分散していたグループ各社の東京オフィスを1箇所に集約しました。これに伴い、事務所移転費用（原状回復工事費用、引越費用、二重家賃、固定資産除却損等）として44百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 2023年12月期通期連結業績予想値と実績値の差異（2023年1月1日～2023年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,500	800	765	535	17円40銭
実績値 (B)	13,534	723	715	210	6円97銭
増減額 (B-A)	34	△76	△49	△324	—
増減率 (%)	0.3	△9.6	△6.5	△60.7	—
(参考) 前期実績 (2022年12月期)	12,914	932	964	685	23円36銭

3. 修正の理由

IoTは主力のモビリティ関連サービスやペイメントサービスが好調に推移しましたが、ホテルマルチメディアと通話録音が苦戦しました。また、中長期的に成長が見込まれる半導体市場におきまして、足元では調整局面の状況にあり、当第4四半期に顧客の在庫調整の影響を受け、営業利益と経常利益が予想を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加えて特別損失の計上により予想を下回りました。

以上